

市之川公民館だより

平成 27 年 7 月号
(No.499 号)
発行；市之川公民館
西条市市之川 6678-1
Tel&Fax； 56-3300

7 月 文月 (ふみつき)

今年の梅雨は、雨の日が多く、うっとうしい日が続いています。食品の管理には、十分お気をつけください。さらに、室内でも熱中症の危険があります。水分補給などにも気を配りたいものです。

梅雨明けは、例年ですと 7 月 18 日頃ですが、今年はどうでしょうか。

今月も、皆様お元気でおすごしください。



《7月の行事予定》

月	日	行事・時刻・場所
12	日	カラオケ会 10:00～ 集会室
20	月	祝 海の日
26	日	カラオケ会 10:00～ 集会室

※ スイスより

5月27日(水)、スイス在住のドイツ人の方が、通訳の方と共に市之川公民館においでました。「世界一の市之川鉱山をぜひ一度見たかった。」とのことでした。いろいろとご説明やご案内をいたしました。その度に「ベリー・ナイス」「ベリー・ハッピー」(なぜか英語?)の連発でした。(中央の方)

世界ではこれほど有名なのに、地元西条ではあまり知られていないのを、いつも非常に残念に思います。



※ 高齢者趣味の作品展

- 1 日 時 7月15日(水)～16日(木)
- 2 場 所 西条市総合文化会館 小ホール
- 3 出品対象者 老人クラブ会員

文 芸 欄

○ 初夏の風 焼き肉食べて 友の顔
 ○ なつメロを 酒の肴に 盛り上がり
 ○ トマト植え 夫婦で手入れ 見事なり
 ○ 造り川 あゆ踊りしも 心冷え
 ○ 野良仕事 茶園きれいに 見違える
 ○ 野良仕事 爺がんばれと 鳥の声
 ○ 稲を植え 水もたつぷり 蛙なく
 ○ 芋をさし 雨待つ農家 一休み
 ○ ありがとう 孫にもらいし 金一封
 ○ 雄々しきは 梅雨の晴れ間の 石鎚の峰
 ○ かしましき 蛙の声に 窓閉める
 ○ 凜として 雨に伸びたる 菖蒲かな

正 正 正 正 正 正 正
 正 正 正 正 正 正 正
 館 館 館 知 知 知 正
 長 長 長 飲 飲 飲 正



※結婚50周年を迎えられるご夫婦に

市では結婚50周年(金婚)を迎えられるご夫婦を、老人福祉大会(9月17日・西条市総合文化会館にて開催予定)でお祝いいたします。該当されるご夫婦は、ぜひ届け立てください。

対象：昭和40年にご結婚されたご夫婦

子どもたちの三つの顔

子どもには、学校の顔、家庭の顔、自分の内面の顔の三つの顔(三つの社会)があると言われていてます。

では、ほんとうの顔はどこで見せているのでしょうか？

ある女子生徒は、「私の本当の顔は、学校や家庭では見せたことがない。」「学校や

家庭では、いい子を演じている。」この言葉には、愕然としたことを覚えています。

今、県内外に目を向けてみますと、命を軽視する事件や事故が連日のように起こっています。事件や事故が起こる度に、必ずと言っていいくらい「あの子がなぜ」「いい子なのに」などの言葉を聞くことがあります。その背景には、様々な要因があると思いますが、依然として子どもを取り巻く環境には厳しいものがあります。

「いじめ」については、「いじめは絶対に許さない。」「誰よりも、いじめの人(側)が全面的に悪い。」という責任の所在を明らかにし、対応に当たらなければなりません。学校では、「いじめは、どの子にも、どの学校でも起こりうるものである。」という認識のもと、互いに認め合える人間関係づくりを行いながら、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に取り組んでいます。

1 いじめの図式(一例)

- (1) 加害者 → いじめの対象者が、一番気にしているところから、攻撃してくる。
- (2) 被害者 → なかなか言えない。言える(相談する)人がいない。少ない。
- (3) はやしたてる周囲 → あの子は、いじめられても仕方がない。やめろと言える子が少ない。いつ自分に、向くか分からない。
- (4) 傍観者 → いじめに対して、影響が大きい。

2 いじめが、なぜ、発見できないか。できにくいのか。

- (1) いじめられたことを、大人(親や教師など)に言わない。言えない雰囲気がある。
- (2) 大人の感覚がマヒしている。

ア これくらい我慢しなさい イ 負けるな ウ 自分の悪いところを直せ

※ 子どものSOS(助け)をきちんと察知していないことが多い。

3 いじめられた子どもに対して、次の言葉や指導はしてはならない。

- (1) でもね。あなたの ~ も直さないかね。
- (2) でもね。あなたも ~ でしょう。

4 解決しました。では、どうしますか。(事後指導の継続を！)

西条市人権教育協議会・西条市教育委員会

